

# EU Indicators

発表日:2019年8月13日(火)

## 欧州経済指標コメント:8月ドイツZEW景況感

～ドイツにリセッションの影～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部

首席エコノミスト 田中 理 (TEL:03-5221-4527)

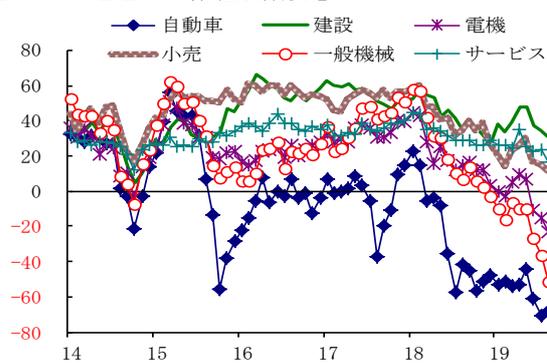
- 8月のドイツZEW景況感（金融市場関係者の6ヶ月先の景況判断）は▲44.1と前月から19.6ポイント悪化し、2011年12月以来の水準に落ち込んだ。2008-09年の金融危機時や2011-12年の欧州債務危機時に同計数は▲40～▲30台の水準が定着、ボトム時は▲60～▲50台を記録したが、今月のマイナス幅は当時に匹敵する。同時に発表された景気の現状判断も▲13.5と、約9年振りにマイナス圏に転落した前月からマイナス幅が一段と拡大した。今月の調査対象時期は8月4～12日。米中貿易摩擦への警戒再燃により世界的に株価が下落した直後と一致。相場環境の悪化が下押しに働いた面はあるが、景況の落ち込みは過去の景気後退局面に匹敵する。
- 今月の計数では景況や市況悪化が全面的。同時に発表された日米欧主要国・地域の先行きの業況判断は、調査対象の全7ヶ国・地域で前月からマイナス幅が拡大。日米欧主要国・地域の短期金利、長期金利、株価も軒並み前月から悪化した。業種別の業況判断は、自動車が前月対比で持ち直したものの、既に統計作成上の下限に近づいており、業況改善と受け止めるのは困難。その他業種では、公益と通信が前月から僅かに改善したのを除き、10業種が前月から大幅に悪化した。
- 14日に発表されるドイツの4-6月期の実質GDP成長率はマイナス成長となった見込み（コンセンサスは前期比▲0.1%）。7-9月期入り後のドイツのソフトデータが一段と悪化しており、2四半期連続マイナス成長のテクニカル・リセッションも視野に入ってくる。

■ドイツ：景気の現状・先行き判断



出所：ZEW

■ドイツ：ZEWの業種別景況感



出所：ZEW

■ドイツ企業景況感（季節調整済み）

	2018		2019		2018		2019								
	3Q	4Q	1Q	2Q	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
ZEW景況感（先行き）	-16.3	-22.1	-10.7	-6.7	-24.7	-24.1	-17.5	-15.0	-13.4	-3.6	3.1	-2.1	-21.1	-24.5	-44.1
現状指数	73.7	57.9	17.9	7.2	70.1	58.2	45.3	27.6	15.0	11.1	5.5	8.2	7.8	-1.1	-13.5
Ifo景況感（総合）	103.4	102.2	99.4	98.3	102.8	102.4	101.3	99.6	98.9	99.8	99.2	98.2	97.5	95.7	—
現状指数	106.9	106.1	104.2	101.9	106.4	106.4	105.5	104.5	104.0	104.2	103.4	101.2	101.1	99.4	—
先行き指数	100.0	98.4	94.9	94.8	99.4	98.5	97.3	95.0	94.1	95.5	95.1	95.3	94.0	92.2	—
PMI製造業指数	55.5	51.8	47.1	44.6	52.2	51.8	51.5	49.7	47.6	44.1	44.4	44.3	45.0	43.2	—
サービス業指数	55.0	53.3	54.6	55.6	54.7	53.3	51.8	53.0	55.3	55.4	55.7	55.4	55.8	54.5	—

出所：ZEW、Ifo、IHS Markit

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

